



~ Motherly Earth E・COMMUNITYフォーラム in a Turbulent Age

~未来の子どもたちが、笑顔で暮らせる健康で持続可能なコミュニティづくり~

とき：2010年8月24日 10時~17時30分

【会場602室プログラム内容】 参加協力費 前売800円 当日1,000円

<オープニングセレモニー>

オープニング【和太鼓演奏】・【開催の挨拶】 13時~13時30分
和太鼓演奏 和太鼓グループ 打雅奴(DAGAYA)



<第一部 基調講演>

- 1、テーマ~ 徳育・愛と精神 ~ 13時30分~14時
講師：内閣府認証NPO法人Earth as Mother 理事長 山本 桃紋予 女史
- 2、テーマ~ 共育・文化 ~ 14時20分~15時10分
講師：ネイチャークラブ東海代表 篠田 陽作 氏
- 3、テーマ~ 住育・環境 ~ 15時10分~16時
講師：NPO法人地域再生機構 理事長 NPO法人地域の未来 理事長 駒宮 博男 氏

<第2部 ブレイクスルー茶話タイム・閉会の挨拶>

16時15分~17時30分
講師の方と一緒に楽しいミニ交流会を行います。

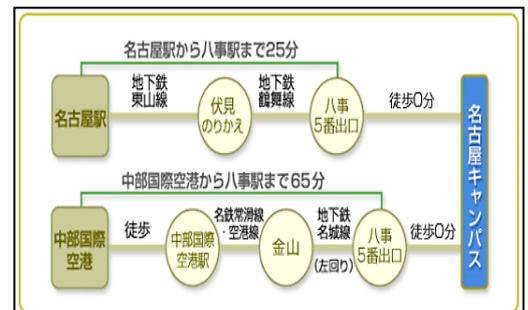
【会場06A室プログラム内容】 無料
<参加団体様によるパネル展示及び活動紹介>

10時~17時30分
フォーラム参加者や協賛支援社によるブース出展パネル展示及び活動紹介など開催。

<チケット販売・問合せ先>

〒460-0012名古屋市中区千代田3丁目10-3
テ カトル フィユ 内
TEL 052-339-0484 FAX 052-339-0485
URL <http://www.earthasmother.com>
事務局E-mail office@earthasmother.com

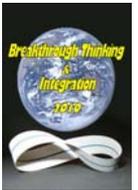
主催：内閣府認証NPO法人Earth as Mother
響催：第2回世界会議 21世紀ブレイクスルー思考
後援：愛知県(予定)



第2回世界会議とは・・・ 未来を創造するブレイクスルー思考

開催期間 2010年8月23日(月)～8月27日(金) 中京大学 名古屋キャンパス

世界会議ホームページ http://www.bttnt.com/World_Congress/index_j.htm



未来の見えない、出口の見えない、今までに人類が直面したことのない激動の21世紀を迎え、「過去の延長線上に未来はない」時代の中、過去、現在から学ぶ機械論的な分断思考の無力さに、人類は、気づき始めてきました。また、時代は、知識・情報社会を通り越え、知識・情報を使う時代・メタ知識社会に入ってきていますが、残念ながら、世界は、依然として、情報・知識を基にして、未来を考える思考ではなく、「過去・現在」から学ぶ思考からぬけきれません。また、前述の機械論的な分断思考の特筆でかつ現代の基本パラダイムである要素還元主義から構築された価値観から解放されず、二者択一あるいは分断できない価値観の存在までも否定し、yes or no あるいは敵味方、といった、考え方を無意識に進めてしまっています。その弊害である人間性の荒廃が、紛争や犯罪として世界レベルで多くの問題を生み出しています。

そこで、第2回世界会議では、分断、敵対、本質をみない姿勢から、生じている各分野における問題について、

- ①問題の本質と、コンポンを捉え、未来のあるべき姿を創造し学ぶ、「ブレイクスルー思考」
- ②分断思考から全体と個々の関係性を重視した統合思考へ

をベースに、様々な分野の方々からの実践に基づいた解決方法の発表と議論を通して、人類・社会が直面している課題を解決するため、乱気流の時代を乗り切る新たな「21世紀ブレイクスルー思考・統合思考」を切り開いてまいります。この世界会議の大きな特徴は、いろいろな分野、業種、老若男女、人種が一堂に会して、ダイバシティとホリスティックを交え、お互いが響き、創っていく姿を世界へ発信する場にあります。

講師 紹介

内閣府認証特定非営利活動法人Earth as Mother 理事長 山本 桃紋予 女史



Earth as Mother理事長。磁器人形・ポルスレーヌアール作家。「デカトル フィユ」ギャラリー&カルチャー教室等を名古屋市中区千代田3丁目で経営。名古屋市中区に生まれ育ち、結婚後 創作人形作家として創作磁器人形と工芸オブジェ制作も手がけ、磁器土の手練り粘土を独自で研究開発し特殊磁器粘土「ラ・ポルスレーヌ」を作り上げた。作家活動は名古屋市を始めとし、広範囲で愛知県内で、公共の施設で講師を務める。作家として、2001年東京日本橋高島屋『第11回工芸美術日工会展』磁器作品【ドリームボックス】入選。東京日本橋高島屋『第11回工芸美術 日工会展』また2005年『日本芸術協会展』磁器人形【遥かなるメロディ】愛知県知事賞を受賞。数々の賞を受賞し順風満帆と思えた時の2001年4月椎間板ヘルニアを患い、苦悩の日々を送っている最中、

この世や環境は、人のあり方や考え方(心の持ち方・言葉の使い方)で大きく未来と人生が変わる事に気付いた。その気づきと病からの大切な導きで得た人間の正しい生き方を啓蒙する「心の学校メンタルヘルス」を主宰し、縁ある人々から心の母として慕われ、メンタルヘルス・カウンセラーとして活動している。

ネイチャークラブ東海代表 篠田 陽作 氏



1941年生 東京都出身。豊田工業高等専門学校講師。日本動物・植物専門学院講師、名古屋コミュニケーションアート専門学校環境学部講師など大学、専門学校、短大などの講師を歴任。農業と自然の関係や環境問題から考える農業などを中心に、「消費者の農に関する関心や知識が農業を変えるための原動力」など消費者と農業の関係についての話、「世界の食糧問題から考える農業の大切さ」など食と農、農と環境などの話のほかに、名古屋市の環境部の依頼で農の環境教育のプログラムを作成、5年間毎年米作り環境教育を指導して小学生親子とお米を作り続けている。

また名古屋市の農業センターで毎月自然観察会を開催したり、農業センターの依頼でため池の復元を地域の人たちとおこなっている。名古屋市の荒池ふるさとファーム構想の検討委員も務めている。また、農業と深い関わりのある里山についての事業も愛知県から受託し「里山保全リーダー養成講座」をおこなっている。

NPO法人地域再生機構 理事長 NPO法人地域の未来 理事長 駒宮 博男 氏



1954年横浜生まれ。東京大学中退。幼少よりゲートルなど、数学基礎論について父に聞かされて育つ。学生時代は年に120日以上山中で過ごし、登山の海外遠征は10回以上を数える。NPO法人地域再生機構理事長 NPO法人地球の未来理事長、ぎふNPOセンター理事長代行、名城大学大学院経営学研究科客員教授。著作に『ぎふ発、地域からのカクメイ～持続可能社会構築のための地域自治に関する政策提言～』(NPO法人地球の未来、2003年)、『地方住民から国土形成計画への提言』(道づくりフォーラム、2006年)、『地域をデザインする～フラウドームの窓から見た持続可能な社会～』(新評論、2007)など。

オープニングイベント演奏グループ

和太鼓グループ 打雅奴(DAGAYA)



約十五年ほど前、鬼太鼓座で学んだある太鼓グループから指導を受けて、名古屋市千種区で発足。愛知県芸術劇場大ホールや覚王山祭りにて演奏。メンバーはそれぞれいろいろな仕事をしながら、演奏活動をしている。「素直な太鼓」をモットーに純粋に、心に響く演奏活動を続けていらっしゃる和太鼓グループです。
ホームページアドレス <http://www.rd.mmtr.or.jp/~dagaya/>

マザリーアースプロジェクト2010 E. COMMUNITYフォーラム inあいち(中京大学)実行委員会